

長沼町×鶴居村タンチョウ
子ども交流ツアー



11月5、6日に長沼町と鶴居村の子供26名が集まり、タンチョウに関わる体験をしました(主催:KODOMO湿地交流つるい委員会・長沼町)。デントコーン畑に群れるタンチョウの姿や釧路湿原の広さに、長沼町の子供はびっくり。夕暮れ時にねぐらとなる川に次々と飛んでくるタンチョウの姿には、鶴居村の子供も寒さを忘れて興奮しているようでした。タンチョウの冬のえさ場づくりでは力を合わせて低木の除伐作業に汗を流し、最後にみんなで両町村のすごいところを分かち合い、称え合いました。来年度は長沼町で再会できることを願いつつ、無事にイベントは終了しました。

交通安全村民大会 (2,500日達成)



村内団体および関係機関等の参加による交通安全に対する意識の高揚と交通事故防止の徹底を図り、交通事故のない明るい村づくりに向けて、村民一体となつて交通安全に取組むことを目的に交通安全村民大会が開催されました。今年度は交通事故ゼロ2500日の達成による表彰状の伝達と北海道警察音楽隊による演奏とカラーガード隊によるドリル演技が披露され、参加者は拍手を交えながら素晴らしい演奏と演技を堪能しました。

わんぱくアドベンチャークラブ
11月講座・生涯学習講座



11月5日に、鶴居村ふるさと情報館でわんぱくアドベンチャークラブ11月講座・生涯学習講座を開催しました。講座の内容は、縄文時代の歴史や当時の人々の生活や暮らしぶりを学習する講話、展示ホールに展示している石器・土器などの使用・製造方法や土器用の粘土を使った「縄文土器作り」を行いました。また、講座の実施に当たり、標茶町博物館の坪岡 始学芸員に講師としてご協力をいただき、初めて学習する人でも、分かりやすく丁寧な解説で、歴史の学習を行いました。

鶴居AC表敬訪問



苫小牧市で開催された「日清食品カップ北海道小学生陸上競技交流大会兼第40回北海道小学生陸上競技大会」に鶴居アスリートクラブから5名が出場し、小学6年女子コンバインドB(走幅跳とジャベリックボール投)に出場した志村美紅さんが5位入賞を果たしました。また、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3・4年生については昨年度同様、各地区大会の決勝記録から、全道ランキングとして上位8位までに賞状が贈られることとなり、小学4年男子ジャベリックボール投にて、菱沼翔稀さんが6位入賞となりました。

鶴居村振興公社設立30周年記念式典



株式会社鶴居村振興公社が設立30周年を迎え、記念式典が執り行われました。同公社は平成4年3月に設立されて以降、運動広場や公園の維持管理業務、役場等の芝生管理業務の受け持ち、その後、「どさんこ牧場」の管理運営や農畜産物加工体験施設「酪楽館」でチーズ、ソフトクリームの製造販売事業を手掛けました。

平成28年度には鶴居たんちようプラザ「つるぼ」の家」がオープンに伴い指定管理を受け、力を注いできたチーズやワインを主力商品とした村内外から愛される店舗となっています。式典の中で代表取締役社長を務める大石村長は「地域経済の発展にいつそう寄与していくため、次の10年に向け村民の皆様と共に着実に踏み出していきたい」と述べました。

NPO 法人美しい村・鶴居村観光協会が観光庁長官表彰を受賞



魅力的な観光地づくりなどに取り組む個人・団体を表彰する観光庁長官表彰でNPO法人「美しい村・鶴居村観光協会」が長官表彰を受賞しました。10月29日には和田浩一観光庁長官が来村し、表彰状が手渡されました。

コロナ禍の中、国内旅行者向けの新たな滞在型コンテンツ等の開発や北海道の大自然を生かしたワーケーションや地産のエゾシカ料理を提供するガストロノミーツーリズムの取り組みが高く評価され、受賞になりました。

鶴居村総合文化祭の開催



10月31日より11月3日の4日間、総合センターにて鶴居村総合文化祭が開催されました。

各サークルが日頃の活動で作した作品や個人作品のほか、寿大学の学生や村内の各小中学生の作品などが会場に展示され、訪れた来場者は完成度の高い作品を見て驚いていました。

また、最終日の11月3日に行われた芸能発表では、大正琴、詩吟、歌声の発表が行われ、NPO法人生活学舎のんきによる「ヒルコ伝説と七福神」や総合文化祭が始まって以来初となるボディビルに会場は大いに盛り上がり、来場者からは惜しみない拍手が送られました。

